

福寿草

新俳句人連盟
石川県支部

発行
野村芳泉

NO 74

2011年

11月1日

交流誌頂いた
支部

孟宗置賜
(山形)
神奈川支部
どんぐり会報
俳句人大分とよ
俳句人とやま
長野支部報

俳句人愛媛
支部報

花信 (兵庫支
部)

「べらんめえ」
東京23区支



山下浄教	浅野紅泉	選者 工藤博司 先生	野村芳泉	東山光意	和泉めぐみ	滝原関
------	------	------------------	------	------	-------	-----

石川支部の皆さんへ
栗林一石路の作品を読まれること
をおすすめします。

このたび(十月二十二日〜二十三日)長野県青木村で、俳人・栗林一石路の没後五十年・雑草忌の集いもたれました。百二十名近い参加者で盛況でした。石川県の仲間皆さんともお会いでき、うれしいかぎりでした。

一石路は、自由律の俳人ですが、大正、昭和という激動の時代と向き合い、その中で家族や、自分の生き方を、庶民的な抒情で、豊かに詠いあげたすぐれた先達です。

皆さんにも、一石路の作品に親しまれますようおすすめします。
手に入れるのが難しいかも知れませんが、次の本は最近の発行で、手にいれることができます。生涯を知ることが出来ます。

「私は何をしたか」栗林一石路の真実

(信濃毎日新聞社・刊)

二千円+税、送料

青木村郷土美術館、電話0268-4913838
に申し込んで見てください。

寒きに向かいます。どうぞお元気で。

二〇一一年・十一月・二十七

工藤博司

刈田晴の碑に掌を置けと一石路

二〇一一年・十一月・二十六

工藤博司

十月紙上句会

工藤博司選

お彼岸に詣げぬ墓の多かりし	生かされて老いて行く身や菊の花	原発はいらぬとさんま横かじり	栗飯やあと三枚のカレンダー	いわし雲千代女の色紙読めぬ吾	救援の荷台に押し込む今年米	袖小屋のかげカモシカの目と会えり	一面の蕎麦の花波白山麓	十五夜の光にひとり居る	じんべいぎめの腹だけ写り能登の秋	浴衣着て左前だよポニーテル	日盛りに燃ゆる葉裏のみみじ哉	秋夜長そつとつばやく祝金婚	若者へ獅子舞をもて街託す
芳泉	小雪	淑江	建次	淳	美苗	紅泉	幸清	南中	恵子	光意	香月	関	もり

新俳句人石川支部
11月句会について

とき:11月10日(木)午前10時~午後3時
ところ:白山市千代女の里俳句館

- 内容:1、俳句人連盟栗林一石路没後50年雑草忌の集いの報告
2、句会(三句投句、5句選)
3、昼食懇談
4、その他、
5、当日昼食句会をおこないますので会費1000円お願いします。
年金者組合「生き生き作品展」出展句一句もお願いします。(是までの作品でも結構)

